

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習 I		授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。	
担当教員	田坂、中林奨			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	216時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、中林奨(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-4(彫留め技法)			
	内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-5(ロケットペンダント)			
	内容	ロケットペンダント カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法		
	メーキング基礎実習 I-6(宝石研磨)			
	内容	宝石研磨 原石のカボションカット技法を学ぶ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メイキング造形実習 I			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペイションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
担当教員	田坂、中林奨			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	528時間	単位数	16単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、中林奨(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(WAXリサーチ)			
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス		
	メイキング造形実習 I-2(ブローチ)			
	内容	箱物の制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ		
	メイキング造形実習 I-3(ワイヤーピアス)			
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する		
	メイキング造形実習 I-4(パールジュエリー)			
内容	パールを使用しジュエリーを制作、パールの留め方を学ぶ			
メイキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)				
内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う			
メイキング造形実習 I-6(オリジナルストーンリング)				
内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	田坂、黒沢			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	248時間	単位数	7単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、黒沢(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(PCによるデザイン)			
	内容	PC演習(アフィニティデザイン/アフィニティフォト)		
	デザイン基礎実習 I-2(立体デザイン)			
	内容	2D、3Dからのデザイン展開		
	デザイン基礎実習 I-3(企画デザイン)			
	内容	テーマからのデザイン展開		
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-4(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン基礎実習 I-5(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習 I-6(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	宝石学A-1			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2021.4.1~2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-1(宝石の基礎知識) 内容 宝石の基礎知識			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	コンピューター実習 I		授業のねらい CADソフト「ライノセラス」の操作方法の基礎を習得していく。	
担当教員	本多			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」を使って、基本的なジュエリーデザインのデータを仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 I -1(CAD造形リング) 内容 CAD造形リング			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい 1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得を目指す。	
担当教員	山本龍、外山			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝山本龍(ジュエリーブランドオーナー)、外山(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(量産仕上げ) 内容 量産リング仕上げ、サイズ直し、磨き、石留め メーキング基礎実習Ⅱ-2(レールセッティングペンダント) 内容 レールセッティング、ペンダント制作 メーキング基礎実習Ⅱ-4(マシンセッティングリング) 内容 マシンセッティングリング制作 メーキング基礎実習Ⅱ-5(延出し腕、スクエア石座) 内容 延出し腕とスクエア石座のリング メーキング基礎実習Ⅱ-6(ペンダント) 内容 18金によるワイヤーセッティングのペンダント制作			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めする事が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ(選択A)		授業のねらい 1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得を目指す。	
担当教員	山本龍、外山			
対象学年	2年			
必修選択の別	選択必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝山本龍(ジュエリーブランドオーナー)、外山(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-3(ゴム型) 内容 原型制作、ゴム型量産			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めする事が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを学ぶ。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用し作品を制作する。
担当教員	山本龍、外山			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	428時間	単位数	14単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝山本龍(ジュエリーブランドオーナー)、外山(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(WAX原型、鑄造仕上げ、フラッシュセッティング) 内容 WAX原型、鑄造仕上げ、フラッシュセッティングによる石留め メーキング造形実習Ⅱ-2(プライダルリング) 内容 エンゲージ、マリッジリング制作 メーキング造形実習Ⅱ-3(オリジナルジュエリー) 内容 オリジナルブランドプロトタイプ制作 メーキング造形実習Ⅱ-4(CAD造形) 内容 石座データ作成			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用する。また描画ソフトの基本的なPC操作を習得する。
担当教員	田坂、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	112時間	単位数	3単位	到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、ジュエリーデザインとして完成させることを目標とする。またPCでジュエリーデザイン画を完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(共通講義・レポート) 内容 学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義 デザイン基礎実習Ⅱ-2(ブランディング) 内容 ブランドリサーチ、新商品企画			
履修上の注意事項	指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ(選択B)			授業のねらい 1年次に学んだ基礎技法に基づいて、新たな知識を習得し、自身のジュエリーデザインに応用する。
担当教員	田坂、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	選択必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 宝石の知識を学ぶことにより石座の表現方法をジュエリーデザインとして完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-3(カラーストーン講義) 内容 カラー石の品質、特性についての講義			
履修上の注意事項	テーマに基づくデザイン展開が最適なものを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい 市場動向や指定テーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。	
担当教員	田坂、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	100時間	単位数	3単位	到達目標 指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(ポートフォリオ) 内容 ポートフォリオ デザイン造形実習Ⅱ-2(プランニング) 内容 プランニングに基づいたジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ(選択B)			授業のねらい 市場動向や指定テーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。
担当教員	田坂、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	選択必修			
授業時数	80時間	単位数	2単位	到達目標 指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-3(リサーチ) 内容 リフォームジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	ビジネス講義及び実習Ⅱ			授業のねらい ジュエリー業界に必要なビジネスマナー、マーケティングを学ぶ。また、採用面談を想定し効果的な自己プレゼンテーション力を養う。
担当教員	田坂、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	36時間	単位数	1単位	到達目標 社会人として必要なマナー、対人スキルを習得する。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅱ-1(ブライダル)			
	内容 ブライダルジュエリーのデザイン			
履修上の注意事項	模擬面接の時間は、リクルートスーツを着用すること			
評価方法	1.模擬面談におけるマナー、会話力 2.受講姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	宝石学A		授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。	
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド講義・実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド講義・実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			